

令和3年洞爺湖町教育委員会第1回定例会会議録

日 時	令和3年1月28日(木) 13:30より
場 所	役場第2委員会室
出席委員	教育長 皆見 亨 委員 岩原 義美 委員 吉田 聡 委員 岡本 里佳 委員 来栖 由喜
欠席委員	無し
説明員	管理課長 末 永 弘 幸 社会教育課長 角 田 隆 志 社会教育課主幹 野 呂 圭 一
会議録調整者	管理課主幹 尾 崎 文 郎
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	皆見教育長 開会を宣言する。(13:30)
日程第2 【前回会議録の承認】	皆見教育長 各委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	皆見教育長 11/18 町議会全員協議会(役場委員会室) 11/19 一般教職員人事面接(洞爺湖温泉小学校・とうや小学校・虻田中学校・洞爺中学校) 11/26 令和3年度以降実施予定事業町長ヒヤリング(役場会議室) 11/27 町議会11月会議(議事堂) 12/1 胆振教育局による町内小中学校異動基準年齢到達者の個別面接(役場会議室) " 体育協会から要望書受理(町長室) 12/10 定例校長会(役場委員会室) ~14 12/14 町議会全員協議会(役場委員会室) 12/15 定例教頭会(役場委員会室)

日程第 4
【報告事項】
・報告第 1号

- 12 / 22 洞爺湖町教育支援委員会（役場防災研修ホール）
- 1 / 13 胆振管内教育委員会教育長会議（むろらん広域センタービル）
- 1 / 15 令和3年度町職員採用面接（役場会議室）
- 1 / 18 虻田小学校山田校長昇格辞令交付（教育長室）
- 1 / 22 令和3年度予算町長査定（役場会議室）
- 1 / 26 町議会全員協議会（役場委員会室）
- 1 / 28 教育委員会定例会（役場委員会室）

皆見教育長

日程第4、報告事項に入ります。

報告第1号、臨時代理の報告について、（学校教職員の人事異動）を事務局から報告をお願いいたします。

末永管理課長

議案書2ページになります。

報告第1号 臨時代理の報告について、（学校教職員の人事異動）についてでございます。

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、次のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定によりこれを報告するものです。

令和3年1月2日付けの発令になります。洞爺湖町立虻田小学校、中川圭介校長、休職となります。期間につきましては、令和3年1月2日から令和3年3月31日までとなります。

次に、令和3年1月16日付けの発令になります。洞爺湖町立虻田小学校、山田耕一教頭、昇任により、洞爺湖町立虻田小学校、校長となります。

以上でございます。

皆見教育長

事務局のから説明がございました。

現中川校長が体調不良によりまして、病気休暇を取得しておりましたが、その後体調が戻らなく、令和3年1月2日付けで、休職となったところでございます。

次に1月16日付けで、山田教頭が校長に昇格をして、着任の報告でございます。

御質問あればお受けしたいと思います。

吉田委員

校長教頭兼務ということですか。

皆見教育長

教頭につきまして欠員となっております。3学期が始まって、残り2ヶ月程度となった時点で、この時期に教頭の着任は難しいということ、教育局から連絡がありましたので、教頭については校長が兼務ということになっております。

ただ、教頭の業務はかなり複雑ですので、校長をサポートしていただきたいという事で、先日、虻田小学校の教職員の皆様に、その点についてお願いをしてきております。

教育委員会としていたしましても、教頭不在における様々な支援、これからもしていきたいと思っています。

他、ございますでしょうか。

来栖委員

中川校長先生はどの位前からお休みになっていましたか。

皆見教育長

7月位から、入退院を繰り返しておりました、病休期間が合わせて1月1日で90日になるものですから、その後、有休取得という方法もありましたが、御本人からの申し出で、休職となった次第です。

他、ございますでしょうか。

《「なし」の声あり》

無ければ、以上のとおり報告を受けたということで御承認をお願いいたします。

次に報告第2号、臨時代理の報告について、(洞爺湖町議会令和2年12月会議提案一般会計補正予算(第8号))事務局から報告をお願いいたします。

末永管理課長

議案書3ページになります。

報告第2号、臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年12月会議提出一般会計補正予算(第8号))について、洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定により、これを報告するものです。

4ページについては、教育長から町長への異議がない旨の文書、5ページについては、町長から教育長へ意見を求める文書でございます。

補正予算の内容につきましては、歳入歳出予算事項別明細書、6ページから9ページとなります。

7ページ、歳入となります。

15款 国庫支出金 1項 国庫負担金 1目 民生費国庫負担金 2節 児童福祉費負担金で、補正予算額 7,847千円でございます、このうち、3,623千円について、教育委員会関係分でございます。

これにつきましては、子どものための教育・保育給付費負担金でございます、歳出の補正予算とも関連しますが、町内の私立幼稚園への運営費の一部について、国からの補助があり、このたび入園者が増加となりましたことによる、増額補正となっております。

次に16款 道支出金 1項 道負担金 1目 民生費道費負担金 3節 児童福祉費負担金で、補正予算額 5,298千円でございます、このうち、3,186千円について、教育委員会関係分でございます。

先ほどご説明させていただきました、国からの補助と併せて、北海道から

も補助があります。これにつきましても、入園者が増加となりましたことによる増額補正となっております。

19款 繰入金 1項 繰入金 1目 繰入金 1節 繰入金で、補正予算額は71,970千円の減額でございます。この内の3,900千円の減額について、教育委員会関係分でございます。

これにつきましては、育英資金特別給付金の財源として、全額を育英資金の基金を充当することとしていましたが、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による充当が可能なことから、当初は、10,800千円を育英資金の基金による充当を予定していましたが、このうち6,900千円を育英資金の基金により対応し、残りの3,900千円を臨時交付金により対応をすることとしたことから、3,900千円の減額補正となっております。

続きまして、8ページ、歳出になります。

3款 民生費 4項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費 18節 負担金補助及び交付金で、子ども・子育て支援事業、施設型給付費負担金 9,994千円の増額でございます。これにつきましては、町内幼稚園の運営費に対する財政支援として、国、道、市町村で負担するものでございまして、入園者が増加となりましたことによる、増額補正となっております。

5項 保育所費 2目 常設保育所費 12節 委託料で、常設保育所運営事業、基本設計業務委託料4,774千円の減額でございます。

これにつきましては、新あぶた保育所の建設に係る基本設計業務委託を当初予算として計上していましたが、本町保育所、入江保育所の統合移築先の変更により、令和3年度より改めて基本計画から新あぶた保育所の建設を進めることとしていますので、これに伴う減額でございます。

10款 教育費 2項 小学校費 1目 小学校管理費 17節 備品購入費 829千円の減額でございます。

これにつきましては、GIGAスクール用のタブレットパソコンの購入費用でございまして、入札の執行残が出ましたことによる減額でございます。

10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費 17節 備品購入費 499千円の減額でございます。

これにつきましても、GIGAスクール用のタブレットパソコンの購入費用でございまして、入札の執行残が出たことによる減額でございます。

9ページ 14款 新型コロナウイルス感染症対策費 1項 新型コロナウイルス感染症対策費 2目 衛生対策費、10,501千円の減額でございます。

1節 報酬 会計年度任用職員報酬でございますが、清掃・消毒サポート員を小中学校に配置をしていますが、2時間で9名を予定していましたが、小中学校の要望を聞き取りした結果、7名の雇用となりましたことから、819千円の減額でございます。

3節 職員手当 会計年度任用職員の期末手当でございますが、清掃、消毒サポート員の勤務時間が手当の支給対象時間以下による、164千円の減額でございます。

4節 共済費 会計年度任用職員の社会保険料等でございますが、清掃、消毒サポート員の勤務時間が社会保険等の対象時間以下による、25千円の減額でございます。

8節 旅費 費用弁償でございますが、清掃、消毒サポート員の通勤費について、3名支給対象者がおり、予定していました距離数よりも多くなり、不足が生じたことによる、52千円の増額でございます。

17節 備品購入費 でございますが、空間除菌清浄機の購入について入札執行残が出ましたことによる、9,337千円の減額でございます。

18節 負担金補助及び交付金 教育旅行負担金でございますが、小中学校の修学旅行の費用のうち三密対策を行った費用の一部について、保護者の費用負担の軽減から予算計上をしていましたが、北海道経済部観光局の教育旅行支援事業の対象事業となったことによる、1,108千円の減額でございます。以上でございます。

よろしく申し上げます。

皆見教育長

事務局から実績見込み及び入札執行残等による補正の内容について説明がありました。何か質問等ございますでしょうか。

《「なし」の声あり》

それでは以上のおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

次に報告第3号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について事務局から報告をお願いいたします。

末永管理課長

報告第3号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告するものです。

1 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について、(1)洞爺湖町育英資金特別給付金の給付状況についてでございます。

給付決定件数、延べ件数、1月22日現在で112件となっております。在学の区分別になりますが、大学生77件、短期大学生8件、専修学校（専門課程）27件となっております。

続きまして、(2)新型コロナウイルス感染症対策への寄附についてでございます。

12月17日に、株式会社ライアブルから北海道教育委員会へ寄附頂き、全道の小中学校等へ配布されてございます。

物品名はアルコールハンドジェル500ml 1となります。数量は、計8本で、小学校については、各2本、中学校については各1本の寄附を頂いております。

(3)学校行事の対応についてでございます。

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部は、新規感染者数の急増により、昨年11月7日から集中対策期間として期間を定め、その後、2回、期間延長をして感染拡大防止対策を実施してきましたが、東京都などで急激な感染拡

大を受けて国において、1月8日から2月7日までを期間として新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されたことを踏まえ、北海道における集中対策期間が更に2月15日まで延長される事態となっています。

国の緊急事態宣言については、1月13日に対象区域が追加され1都2府8県となっており、感染の拡大が続き危惧すべき状況が続いています。

町内の小中学校から感染者を出さないよう、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づいた基本的な感染症対策の徹底などを図っているところですが、これらの対策の外、現在、以下の学校行事についても原則、見合わせをするなど、期間は各小中学校の3学期の終業日までとして取り組みを進めていますのでご報告いたします。

- ①学校職員が参加する各種会議等
- ②保護者の来校による各種行事等
- ③外部講師を招いての各種行事等
- ④その他、必要性や緊急性のない各種行事や各種会議等

事情により実施の必要性のある場合については、この限りではないが、感染症対策を万全とすること。

なお、中学校の部活動については、感染対策を徹底のうえ、1月18日から活動時間を短縮のうえ再開をしています。

また、卒業式につきましては、感染の終息が見えない状況にあることから、次のとおり対応することとしていますので、併せてご報告いたします。

- ①参加者は、卒業生、教職員、卒業生の保護者、PTA会長とすること。
- ②卒業生の保護者参加人数を極力抑えていただくことや風邪症状のある場合は、参加を遠慮していただくこと。
- ③在校生については、各教室のモニターを通じての参加とすること。

なお、小規模校については、身体的距離が確保できることから、状況に応じ参加を可とすること。

④祝辞の割愛など式次第の内容を精選するとともに、式辞や送辞等を文書で配布するなど、卒業式全体の時間短縮に努めることとしております。

報告第3号、管理課所管の各種事務事業の取組状況については以上でございます。

皆見教育長

報告第3号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、説明がございました。

質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり》

無ければ、以上のとおり報告を受けたということで御承認をお願いいたします。

次に報告第4号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について説明

お願いいたします。

角田社会教育課長

報告第 4 号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況についてでございます。

社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告するものでございます。

1 寄附について、このたび、次の方より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

図書の寄附で、洞爺総合センターへの寄附でございます。

洞爺湖町入江 55 番地、齊藤敬子氏、図書 8 冊でございます。

2 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について、(1) 成人式についてでございます。

令和 3 年 1 月 10 日日曜日に感染予防対策を講じた上で実施する予定でしたが、道内外で感染拡大の傾向が続いたことから、延期といたしました。

なお、延期後の期日につきましては、令和 3 年 5 月 2 日日曜日とし、感染状況をみながら開催することといたします。

(2) 社会教育施設等の対応についてでございます。

新型コロナウイルスの町内での感染発生及び北海道内の感染拡大の状況を踏まえまして、社会教育施設等、(虻田体育館、母と子の館、虻田ふれ合いセンター、学校開放(各小中学校体育館))の利用につきまして、12 月 12 日土曜日から 1 月 11 日月曜日までの間、臨時休館としておりましたが、1 月 12 日より利用を再開していますので、ご報告をいたします。

以上でございます。

皆見教育長

報告第 4 号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について説明がありました。

質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり》

それでは以上のとおり報告を受けたということで御承認をお願いしたいと思います。

次に報告第 5 号、令和 3 年度当初予算要望概要につきまして事務局から報告をお願いいたします。

末永管理課長

13 ページになります。

報告第 5 号、令和 3 年度当初予算要望概要について、別紙のとおり報告するものでございます。

御手元に別紙として、令和 3 年度教育委員会予算要望概要を配布させていただいております、これに基づきまして御説明をさせていただきます。

1 ページになります。

管理課所管の部分となります。

予算要望概要についてご説明します。常設保育所について、常設保育所会計年度任用職員報酬等で、会計年度任用職員の保育士から公務補など、子育て支援センターの職員も含めまして、92,963千円となっています。人数については、前年と同数となりますが、今年度から会計年度任用職員制度が開始しておりまして、法の改正により、毎年昇給する仕組みとなり、上限に達するまで昇給することとなりますことから、それに伴う増となっています。

保育所修繕については、外遊具の修繕等で、2,557千円となっています。

これにつきましては、本町保育所外壁修繕等を予算要望しておりまして、1,034千円の増となっております。

フッ化物洗口事業は、平成26年度から事業を実施してまいりまして、昨年と同額です。

(仮称)新あぶた保育所建設基本計画策定業務等で、新規で9,086千円となっています。これにつきましては、先ほどの12月会議に提出をいたしました補正予算の臨時代理の報告の際にも御説明させていただきましたが、本町保育所、入江保育所の統合移築先の変更により、令和3年度より改めて基本計画から新あぶた保育所の建設を進めることとしており、これに関連する費用となっております。

新型コロナウイルス感染症対策事業で、消毒用エタノールの購入を予算要望しており、新規で104千円となっております。

子ども・子育て支援については、子どものための教育・保育給付費負担金事業で、主にとりやこ幼稚園の子ども・子育て支援制度に係る施設型給付で、30,344千円で、5,344千円の増額となっています。

子ども・子育て支援事業については、保育所利用者負担金軽減助成で6,286千円で1,712千円増となっています。括弧としていいますのは、歳出予算で出てくるものではなく、保育料の歳入を減らしていますので、見込みの額を載せています。

続きまして学校教育です。

教育改善推進事業です。628千円で129千円の増額となっていますが、1日防災学校の開催等で増えています。来年度の実施校は現在未定となっています。

特別支援教育支援員の配置については、来年度は5名を予定しています。

特別支援学級介護員の配置については、来年度は7名を予定しています。

学習支援員の配置については、来年度は3名を予定しています。

学習支援員の配置で括弧で外国人児童生徒支援で2名の配置を予定しています。

教育指導専門員の配置については、現在と同じ1名です。

外国語時間講師の配置については、2名を予定しています。

給食業務員の配置については、1名を予定しています。

全体で、54,622千円で、前年度比2,826千円の増を見込んでいます。

今年度から会計年度任用職員制度が開始しており、法の改正によりまして、

毎年昇給する仕組みとなり、上限に達するまで昇給することとなりますことから、それに伴う増となっています。

学校運営協議会運営事業については、町内小中学校5校それぞれに設置していきまして、585千円で昨年度とほぼ同額としています。

いじめ対策支援事業については、Q-Uアンケートで、年2回行っており、前年とほぼ同額を予定しています。

2ページになります。

新型コロナウイルス感染症対策事業は、5,850千円で要望しています。

令和2年度に引き続き、清掃・消毒サポート員、7名の配置を予定しています。

消耗品については、ニトリル手袋や消毒用エタノールの購入を要望しています。

教育旅行負担金（修学旅行等）については、小中学校の修学旅行の費用のうち三密対策を行った費用の一部について、保護者の費用負担の軽減から、令和2年度に引き続き要望をしています。

なお、北海道経済部観光局の教育旅行支援事業の対象事業となった場合については、そちらの事業により対応することを予定しています。

要望額については、小学校515千円、中学校1,335千円の計1,850千円となっています。

スクールバス運行事業につきましては、洞爺地区2台、温泉地区3台で、29,795千円で、前年とほぼ同額となっています。

箱根町中学生親善交流事業については、訪問52回目、来町54回目で、令和2年度については、コロナ禍の影響により中止を余儀なくされましたが、前年より若干増えていますが、三密対策による部屋数の増、また夏休み中ということもあり、飛行機の料金の値上げということを見込んで要望しています。

洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル助成事業については、全校の児童生徒が参加する際に利用するバス代を前年度と同額を見込んでいます。

教育用パソコン配置事業（小学校）については、GIGAスクールによる、児童生徒1人1台パソコンについては、令和2年度中に整備を完了しますが、令和3年度については、児童生徒及び教職員向けの講習会や授業を行う際の支援業務が主な内容となっております。

パソコン設定業務については、パソコンに不具合がある場合、設定の修正をする費用で、198千円となっております。

GIGA-WIFI回線事務手続き料について、臨時休業時等においては、自宅でリモート学習を行うこととなる場合、通信回線を利用することになりますので、その事務手続き料金 423千円となっております。

GIGA-ICT授業支援委託、授業を行う際の支援業務を業者への委託により対応の経費1,320千円となっております。

GIGA-ICT支援業務委託、児童生徒及び教職員向けの講習会について、業者への委託により対応する経費、660千円となっております。

なお、この2つの支援業務につきましては、国の補助事業、GIGAスクールサポーター事業として操作方法や使用方法などの初期対応や、授業へのサポートを予定しています。

GIGA事業支援ソフトバージョンアップ委託、中学校にあるタブレットパソコンを小学校へ移管することから、その際の再設定に必要な経費、715千円となっております。

無線LANアクセスポイントライセンスについて、学校内の通信環境については、WiFiを利用することになりますが、その際に情報の漏えいがないようセキュリティ管理に係る保守料金320千円となっております。

3ページになります。

授業目的公衆送信補償金については、令和3年度より学校の授業において、著作物を利用した教材や資料を電子メールで送信したり、授業で利用する場合は、著作者に承諾を得ないで利用すると違法となることから、「授業目的公衆送信補償金等管理協会」に補償金を支払うことで、著作者に承諾を得なくても著作物を利用した授業が可能とするための費用、36千円となっております。

パソコン借り上げ料については、小学校3校分のパソコンのリース代金9,523千円となっております。

教師指導用ノートパソコン購入については、デジタル教科書を利用する際のパソコンの購入費用、13台分の2,153千円となっております。

GIGA通信費扶助については、臨時休業時等における自宅でのリモート学習時の通信費用の一部を助成するもので、162千円となっております。

対象は、要保護、準要保護世帯で、要保護については、教育扶助として、生活保護費用より支援を受けることから、予算については準要保護世帯分を計上しています。

教育用パソコン配置事業（中学校）についても小学校に同じ内容となっており、GIGAスクールによる、児童生徒1人1台パソコンについては、令和2年度中に整備を完了しますが、令和3年度については、児童生徒及び教職員向けの講習会や授業を行う際の支援業務が主な内容となっております。

パソコン設定業務については、パソコンに不具合がある場合、設定の修正をする費用で、198千円となっております。

GIGA-WIFI回線事務手続き料について、臨時休業時等においては、自宅でリモート学習を行うこととなる場合、通信回線を利用することになりますので、その事務手続き料金267千円となっております。

GIGA-ICT授業支援委託 授業を行う際の支援業務を業者への委託により対応の経費880千円となっております。

GIGA-ICT支援業務委託、児童生徒及び教職員向けの講習会について、業者への委託により対応する経費、440千円となっております。

なお、この2つの支援業務につきましては、国の補助事業、GIGAスクールサポーター事業として操作方法や使用方法などの初期対応や授業へのサポ

ートを予定しています。

無線LANアクセスポイントライセンスについて、学校内の通信環境については、WIFIを利用することになりますが、その際に情報の漏えいがないようセキュリティ管理に係る保守料金336千円となっています。

授業目的公衆送信補償金については、令和3年度より学校の授業において、著作物を利用した教材や資料を電子メールで送信したり、授業で利用する場合は、著作者に承諾を得ないで利用すると、違法となることから、「授業目的公衆送信補償金等管理協会」に補償金を支払うことで、著作者に承諾を得なくても著作物を利用した授業が可能とするための費用、35千円となっています。

パソコン借り上げ料については、中学校2校分のパソコンのリース代金6,688千円となっています。

GIGA 通信費扶助については、臨時休業時等における自宅でのリモート学習時の通信費用の一部を助成するもので、106千円となっております。

対象は、要保護、準要保護世帯で、要保護については、教育扶助として、生活保護費より支援を受けることから、予算については準要保護世帯分を計上しています。

洞爺地区等通学費等助成事業については、29名を見込み、3,420千円を要望しています。

育英資金の基金給付事業につきましては、前年と同額の総数の15名の1,000千円を見込んでいます。

学校施設修繕等につきましては、小学校の施設修繕は5,661千円で遊具修繕、消防設備修繕、虻田小学校は非常口ポーチ修繕、4ページになります。温泉小学校については、エレベーター修繕などの内容となっています。

中学校の施設修繕は、2,301千円で、各校の消防設備の修繕、虻田中学校は、黒板貼り換え修繕や屋上防水修繕、グラウンドバックネット修繕、洞爺中学校は、校内内部塗装などの内容となっています。

備品購入事業につきましては、小学校の学校管理用備品については、650千円となっています。

中学校の学校管理用備品については、2校の学校管理用備品180千円、洞爺中学校放送卓更新、2,417千円の計、2,597千円となっています。

教員住宅維持管理事業につきましては、小破修繕、退去後美装4戸、大原教員住宅修繕の1,774千円となっております。

虻田中学校外装修繕については、令和元年度は、3年生教室の外壁の工事を行い、令和2年度については、2年生教室外、外装修繕工事の3,980千円で、工期を概ね1ヶ月とし、夏季休業期間中を予定していましたが、夏季休業期間の短縮により、夏季休業期間中に完了することが不可能となり、2学期の授業時も期間とした工事も検討しましたが、工事を行う際の騒音が授業の妨げになり、授業の進度への影響があることから、見送りおりましたが、令和3年度の夏季休業期間中に行うこととし、要望をしています。

次に洞爺中学校屋内運動場非構造部材の耐震点検調査業務委託2,565千円ですが、令和2年度予算として、洞爺中学校体育館改修工事実施設計委託業務を予定していましたが、どのような工法や部材を使って工事を行うのかをまずは調査しなければならないことから、令和2年度予算を減額し、令和3年度に洞爺中学校屋内運動場非構造部材耐震点検調査業務を行い、今後、令和4年度に実施設計、令和5年度に工事を行う予定としています。

虻田高校支援事業については、5,124千円でを見込んでいます。

虻田高校支援活動で、虻田高校支援フォローアップ活動推進委員会の開催経費で同額の2回を継続事業として見込んでいます。

管理課の関係予算の説明については、以上です。

角田社会教育課長

続きまして社会教育課の御説明をさせていただきます。

5ページになります。

洞爺湖町人づくり育成事業でございます。

町内の個人団体を対象として、まちづくりのための人材育成等を目的とした研修費の助成でございます。

継続事業でございます。要望額は1,225千円で前年度と同額となっております。

この事業につきましては、令和2年度に実施を予定していた2団体が、新型コロナウイルスの影響によりまして、研修を延期しておりまして、状況を見ながら令和3年度に改めて実施したいという要望がありますので、今年度と同額の要望額となっております。

続きまして地域未来塾事業でございます。

小中学生を対象に、学習習慣を身に付け、基礎学力の向上を目的とした学習支援でございます。こちらも継続でございます。要望額は1,863千円で前年度とほぼ同額となっております。

続いては新規になります。

IT遠隔教室設備等整備事業でございます。

こちらは新たに建設されましたアイヌ民族共生拠点施設ウトウラノにおきまして、中学3年生を対象として、講師と生徒の双方向のライブ授業を行うものでございます。

初期投資としてテレビモニターやパソコン、ウェブカメラなどの備品購入も含まれてございます。

中学3年生の受験対策ということは今考えておりまして、10月からの実施を見込んでおります。

次に読書の家の維持管理事業でございます。

虻田読書の家屋根外壁等外装工事、みずうみ読書の家改修工事で9,073千円を要望してございます。

みずうみ読書の家に関しましては、利用人数が減少傾向にあるということなどから、あり方については検討してございます。洞爺湖温泉という立地や

地域の方々も人口減少しているということを考えると、図書館利用に特化したものよりも、サロンのような場所として活用する方法も考えられるということで、そちらの方が良いのではないかと考えております。

ただ、この工事につきましては、今現在、観光情報センターの内側のほうに1カ所、小さいドアがついております。そこを、広いドアに変えて中が見えるようにしたうえで、いろいろな方に利用していただくということで考えてございます。

続きまして高砂貝塚保存整備事業でございます。

貝塚館の屋上防水及び外壁塗装工事、入江貝塚公園の便益施設の改修工事ということで、20,396千円を要望してございます。

こちらにつきましては、補助事業ではなく町の単独費の工事となっております。今年度実施できなかった分を来年度要望するものでございます。

入江貝塚公園につきましては、トイレと、貝塚の剥ぎ取り展示の入り口にありますが木の部分を取り替える工事でございます。

最後になりますが、体育施設運営管理で、虻田小学校グラウンド照明取付工事、9,922千円の要望でございます。

新規でございます。

サッカー少年団から要望がございまして、夜間の照明取付について要望がございました。

このことについては、議会でも御質問がありまして、設置する方向で検討しているということでございます。

また取付については設置場所、それから取付個数については、検討中でございますので、最大限での金額を要望しているところでございます。

社会教育課については以上でございます。

末永管理課長

続きまして、6ページ、給食センター関係事業です。

給食施設備品等につきましては、虻田給食センターで調理衣消毒殺菌庫の購入363千円、厨房シューズ消毒殺菌庫購入369千円を予定しています。

これにつきましては、保健所から消毒殺菌対策としての設置が望ましいと指導を受けましたことから要望をしています。

給食施設維持補修につきましては、虻田給食センターの蒸気配管の老朽腐食に伴う修繕で464千円を予定しています。

洞爺給食センターの冷温水配管の接手修繕、352千円、下処理シンク改修、173千円、洞爺給食センター、生きがい交流センター外壁改修工事、9,933千円で、それぞれ要望をしているところです。

令和3年度 教育委員会予算要望概要の説明につきましては、以上になります。

皆見教育長

事務局から令和3年度の教育委員会予算要望の説明がありました。

現在、町部局と新年度予算について協議をしている最中でございます。

あくまでも今説明をしたものは、町教育委員会から町へ要望しているものということで御理解をいただければと思います。

御質問、ございますでしょうか。

岡本委員

今年度中止となった箱根町の中学生親善交流事業、また子ども芸術文化フェスティバル事業とか、また来年度計上されておりますが、今年度中止になって来年度実施予定の事業と中止する事業との違いはなんですか。例えば三豊市とのフレンドリーツアーとかは実施しない予定ですか。

角田社会教育課長

社会教育事業につきましては、今年度予定していた事業につきましても、来年度予算要望をしているところでございます。

フレンドリーツアーにつきましては、予算要望をしております、何とか開催できるようにとは考えてございます。

この資料には、主な事業のみ載せておりますので、細かい所につきましては、また改めて御報告させていただく予定です。

岡本委員

令和2年度予定の事業については、全部実施予定ということですか。

角田社会教育課長

少し形を変えて実施することを今検討しているところでございますけども、実施の方向で考えてございます。

末永管理課長

芸術文化フェスティバルの関係ですが、昨年も11月の下旬に予定をしておりましたが、残念ながら見送りとなりました。

予算要望を上げさせていただいて、小中学校で構成される実施団体がございますので、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、どのような形で開催ができるのか、調整をして対応していきたいと考えてございます。

また、箱根町親善交流事業についても同様ですが、東京オリンピックの状況等も見定めた上で判断したいと思います。これにつきましても、対象の中学校の校長と連携を取りながら、進めていきたいと思っておりますけれども、予算要望については上げさせてもらっています。

岡本委員

合唱とかはできない状況ですので、芸術的なものにこだわらない形で今後考えていく必要はあるのかなと思います。

それから新規事業のIT遠隔教室について、もう少し詳しく教えていただけますか。

角田社会教育課長

IT遠隔教室につきましては、東大ネットアカデミーというところで東大生が授業を行うもので、東大生は東京にいて、先ほど申しあげましたテレビモニターだとかネット環境で遠隔授業を行います。

一方通行の授業ではなく、双方やりとりができるような形で、今考えてい

るのは、新しくできた施設に生徒を集め、そこでテレビを見ながら、授業を受けるということを考えております。

岡本委員

中学3年生だけが対象ですか。

社会教育課長

そうです。

岡本委員

普通の教科の勉強ということですか。

角田社会教育課長

はい。

岡本委員

受験勉強を対象にするということですか。

角田社会教育課長

そうです。受験生を対象にということで、洞爺地区の中学生については、こちらに来るのではなく、パソコンやタブレットを使ってできるように、考えているところでございます。

岡本委員

どの位の人数が入れますか。

角田社会教育課長

1度に入るのは40人位です。

岡本委員

枠があるなら、他の学年の子でも、たくさんの人に利用してもらえたらいいなと思います。

皆見教育長

補足ですが、この事業は国のアイヌ推進交付金を活用して10分の10の補助で実施をする事業です。ですから町の持ち出しはない事業ですけれど、いづれにいたしましても今言ったように、中学校3年生の受験生をまずは対象として、令和3年度実施する計画です。

次年度以降については、令和3年度の実施の評価を踏まえてまた再度協議していきたいと思いますが、新たな取り組みといたしまして、中学校3年生に特化したものではありませんが、学力の向上について、こういった事業はどのようなかということで国とも協議をして、ある程度内諾をいただいているということで、今回計上させていただいているものでございます。

岡本委員

対象は、国と決めたことですか、それとも枠を広げて社会人も対象になることも考えられますか。

皆見教育長

あくまでもこれはアイヌの推進交付金を使いますので、対象はアイヌのお子様を対象とするものです。

いわゆるアイヌの人達を対象とした事業に対しての補助交付なものです

が、ただそれだけではなく、やはり他の生徒さんにも、せっかくですので、こういった機会を利用していただいて、広く利用し学習していただくこと目的としていますから、一般の方については今回は想定はしておりません。

また中学校 3 年生以外の子供たちについても、現時点では想定はしていないという内容となっております。

吉田委員

あくまでもアイヌの方の御子息を対象ということですか。

皆見教育長

基本は、その方たちも含めてです。実はこの事業は、既に沖縄で国が承認をして実施をされております。

今回、補助金の趣旨としましては、アイヌの方たちをサポートしていく、支援していくということが第 1 目的となっておりますので、そういった人たちを対象にした事業、それに合わせて、地域の特性といいますか、状況によってはアイヌの子供だけではなく、その他の子供たちも含めてもそれは構わないと内諾をいただいているものですから、今回中学校 3 年生の皆様を対象としたということになっている次第です。

吉田委員

従来の未来塾というものがありますが、それも受験に向けていろいろとボランティアの方々が活動されていたと思うんですけども、それとは、運営の仕方なども全く別物と考えていいんでしょうか。

角田社会教育課長

今まで未来塾でやっていたものを、先ずこの IT のほうでシフトしながらやっていくというような考えを持っております。

それで、未来塾と併用していく、すみ分けといいますか、中学 3 年生は IT の授業を受けてもらって、その他の学年については、地域未来塾で先ずは受けてもらいます。

将来的には、どちらかいい方法に拡大していければというように考えているところです。

吉田委員

中学 3 年生を対象にするなら 10 月からでは遅いと思います。

もう少し時期を早める可能性はありますか。

角田社会教育課長

初めて実施する事業ですので、こちら側の体制も含めまして検証していきたいと思っております。

あとはスタートして、こういった形で次年度に繋げていくかということを考えていきたいと思っております。

野呂社会教育課主幹

補足ですが、今、洞爺地区で行っている事業については、そのまま継続していただくと考えております。

10 月からそれに加え、リモートにも参加できますというものです。

ですので、虻田地区はリモートだけということになります。

岡本委員

実施は平日の夜ですか。

角田社会教育課長

平日の夕方です。

部活動が終わった時期から始めるという考えです。それで、等しく参加できると考えております。

岡本委員

週何回ですか。

角田社会教育課長

週2回予定しております。

岡本委員

すごくいい企画だと思いますが、参加しない子はなかなかしないので、何かうまく誘うことができればと思います。

皆見教育長

色々な方面から子供たちの学びを支えていく、その一つの方策として今回この遠隔授業というものの提案させていただいております。

私どもの町には地域未来塾という、スタイルもありますので、それはそれでももちろん継承していて、プラスアルファとして新たなものを、皆さんの知恵を出し合いながら、子供たちのための施策を進めていきたいとの思いから、今回こういったものを提案している状況でございます。

これについては、さまざまな御意見があろうかと思いますが、今担当課長がお話ししましたとおり、まず令和3年度で国からの補助金をうまく活用しながら、1年間進めさせていただいてその評価検証をした上で、令和4年度こういった形がいいのか、また、皆様の色々な御意見をいただきながら進めていければと思っております。

ただ、国の補助金も期限がありますので、補助が無くなった後の事もやはり私どもとしては考えていかなければなりませんので、総合的に子供たちの学びの保障をどうするのかというところについて、これからも、皆様の御意見も聞きながら進めていきたいと思っております。

岡本委員

学校で1人1台タブレットが当たりますので、強制ではないのですが、放課後に学校で体験会みたいなことができれば、こういうのだったら参加してみたいと思う生徒が出てくるのではないのでしょうか。紙ですと見た時点で、これ行かないとなってしまう生徒が結構多いと思いますので、導入の部分をやっと細かく工夫してやっていただけたらと思います。

角田社会教育課長

出来ることを考えいきたいと思っております。

皆見教育長

令和3年度は、リモート学習に関しては変革の年だと思います。

その延長線上に、今回この東大生にお願いをした I T 遠隔教室講座ということでございますので、そういった意味では今課長がお話ししましたとおり、色々な方法を検討しながら進めていきたいと思っております。

他、ございますでしょうか。

来栖委員

3 ページの、ノートパソコンの購入というのがありますが、虻田小学校 6 台、とうや小学校 6 台、温泉小学校 1 台と書いてありますが、温泉小学校は既に人数少ないとは思いますが、1 台だと少なすぎると思います。

末永管理課長

2 カ年の計画で導入予定してまして、来年度が最終年です。

CD-ROM を読み込めるパソコンがないと指導用パソコンとして使用できませんので、それに関するパソコンを導入するもので、数は足りております。

来栖委員

わかりました。

5 ページの、体育施設運営管理で虻田小学校のグラウンドの照明をつけていただくのがすごくありがたいと思うんですけども、合わせて温泉小学校のバスケットコートライン引きをしていただけたらと思います。

それから、読書の家に関してずっと以前に 1 回だけ話したと思いますが、図書消毒殺菌機について、不特定多数の方が利用しますので、学校の図書室とか、図書館に早目に設置していただけたらと思います。

以上です。

角田社会教育課長

2 点ございますけども、少しお時間がかかり申し訳ありません。

温泉小学校のライン引きにつきましては、引くことは構わないけれども、剥がしてくださいと言われておりますので、恒久的なものになるかどうか、もう一度温泉小学校側と相談しなければなりませんので、お時間を頂きたいと思っております。

来栖委員

お願いということですので、よろしくお願ひします。

皆見教育長

他、ございますでしょうか。

吉田委員

今、虻田小学校には野球用の照明がついていますが、サッカー用照明というのは角度だとか、野球用とは全く違うということですか。

角田社会教育課長

いえ、同じものを基本的には設置しますが、今、野球の内野グラウンドだけを照らしている状態ですけど、その程度の範囲がもう 1 ヶ所海側につくようなイメージを持っていただくと分かりやすいかなと思います。

今は、海側の方がかなり暗いですし、ゴールも動かさせませんので、そうい

った要望を受けているところです。

吉田委員

洞爺湖町単独のサッカー少年団はあるのですか。

角田社会教育課長

あります。

照明をつけた時になくて、野球だけの対応をしたのですが、そのすぐ後に復活しました。

皆見教育長

ポロモイスタジアムがあるので、そちらを活用していただければと思いますが、野球少年団の子供たちもそうですが、授業が終わったら自分でグラウンドまで来て練習します。

お話を聞いたらサッカー少年も同様に自分ではポロモイスタジアムまで行けないので、練習であれば、虻田小学校に自分で来て、帰りは保護者の車に乗って帰るということになります。秋口は、7時位いまで練習するのでどうしても暗くなります。

練習用でもいいのという御要望をいただいておりますが、予算は最大で要望しておりますが、これについてはもう少し協議をしなければならないと考えております。

他、ございますでしょうか。

吉田委員

虻田高校の支援事業についてなんですけれども、入学者増が予定されておりますが、新聞で見たのは出願者数は17名でしたか、前年度は何人（入学者数）でしたか。

末永管理課長

12名です。

皆見教育長

今年度は地元も17名中8名いらっしゃいます。

今の中学校2年生が令和4年度の入学者になりますが、この学年が多いので、何とかその年は高校とも色々と話しておりますが、何とかその年の入学者数を20人以上にしたいと考えております。

と言いますのは御存じのとおり再編留保をされてる状況ですので、20人以上になるとそれが取り消され、再編留保ではなくなるということになりますので、何とか私供も高校も含めて、それを目標に進めていきたいと思っております。

今月、町内の中学校2年生を対象に、虻田高校の見学会が開催されました。その時に、中学校2年生の子供たちにアンケートを行い、私もそのアンケートの結果を見せていただきましたが、学校を訪問して初めて教室に色々な設備がある、例えばトレーニングマシンがあるとか、パソコンが1人1台づつあるだとか、様々なことがわかったと。

それと、色々な資格が取れるということもわかったと。

そういった新たな発見が中学校 2 年生の子供たちが、それぞれ口にしていたので、令和 4 年度では地元中学生の入学者数は、ちょっと増えるのではと、更に期待をすれば 20 人以上の確保ができるのではないかというような思いでおります。

いずれにしても、今の校長先生がすごく一生懸命な方でございますして、行政も色々この取り組みについても、協議をさせていただいておりますので、私どもとしてはすごくありがたい状況でもありますし、今後、更に連携を取りながら、生徒確保に向けては進めていきたいと思っている次第です。

吉田委員

色々な用事で高校を伺うことがありますが、管理職の先生中心に一生懸命やっていたらしゃるので、最大限の協力を町としてもして差し上げたいと思います。

皆見教育長

他、ございますでしょうか。

岩原委員

洞爺中学校の屋内の運動場の非構造部材というのは、例えばどういうものですか。

末永管理課長

洞爺中学校の体育館の天井は、直打ちではなく、吊り天井と言われるもので、それを非構造部材と言います。

町内小中学校の耐震化率は 100%なんですけれども、東日本大震災の時に、吊り天井が落下する事案があり、緊急に対策しなさいということで国のからも言われております。

その対応ということで、令和 2 年度に実施設計を予定しましたが、先ほどの説明と重複しますけれども、まず、どのような状況かを点検し、部材や工法を確認しないと費用の部分が計算できないというのがわかりましたので、改めて令和 3 年度予算計上しております。

皆見教育長

他、ございますか。

《「なし」の声あり》

それでは以上のおり報告を受けたということで、御承認をお願いしたいと思います。

日程第 5、その他でございます。

委員の皆さんから何かございますでしょうか。

《「なし」の声あり》

事務局、ありますか。

末永管理課長

ありません。

皆見教育長

以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会令和 3 年第 1 回定例会議を終了い

日 程 第 5

【 そ の 他 】

日 程 第 6

【 閉 会 】

たします。

15 : 45 閉会